

6 笠岡の歴史と伝統文化の保存に関する事業

実施事業	CMで伝える地域自慢コンテスト（学校教育課）
総事業費	1,888,005円
ふるさと納税充当額	1,500,000円

平成28年度から3年計画で行っている事業で、最後の開催となりました。市内10校11ームがエントリーし、元TBSアナウンサー下村健一さんから動画撮影のポイントや、情報発信者としての心構え学びながら、1分間の地域自慢CMを作成しました。

また、過去3年間の全エントリー作品の中からグランプリ作品を1点決定しました。

実施事業	井笠鉄道記念館車両等整備事業（生涯学習課）
総事業費	131,392円
ふるさと納税充当額	100,000円

笠岡市井笠鉄道記念館には、軽便鉄道の車両が展示されています。貴重な車両を将来にわたって保存し、活用していくために、ボランティアの方と連携して、年次的に再整備を実施しています。平成30年度は、機関車の運転室の整備を行いました。

運転室内の古い塗装や汚れを落とし、再塗装とコーティングを行いました。その結果、運転室内は機関車が活躍していた当時の姿を取り戻しました。



実施事業	木山捷平没後50周年記念事業（生涯学習課）
総事業費	309,205円
ふるさと納税充当額	250,000円

平成30年は、現在の笠岡市山口出身の小説家、木山捷平の没後50周年にあたります。そこで、木山捷平の業績を顕彰し、作品の魅力をより多くの皆さんに知っていただくために、二つの事業を開催しました。

1 リレー講演会「今、あらためて木山捷平を語る」

4人の講師による講演に加え、捷平の地元、新吉中学校の吹奏楽部による演奏、捷平の詩の朗読なども行いました。

講演会開催日 平成30年10月13日
 講演会会場 笠岡市保健センター ギャラクシーホール
 参加者 約150人

2 小説『尋三の春』読書感想画コンクール

捷平の短編小説『尋三の春』を市内の中学生全員に配布して、若い世代に木山捷平文学の世界に触れてもらい、作品に親しみをもってもらおうよう努めました。応募作品7点を、笠岡市立図書館において展示しました。

展示期間 令和元年2月13日～3月3日



実施事業	森田思軒文学資料整理事業（生涯学習課）
総事業費	3,014,800円
ふるさと納税充当額	2,100,000円

笠岡市では、笠岡出身で、明治の翻訳王と称された森田思軒に関する数多くの資料を御子孫の方から寄託を受けて保管しています。そうした貴重な資料を、今後展示や研究などで活用するために、目録を作るとともに整理を進め、保存環境の向上にも努めています。

その成果は、市立図書館にある森田思軒顕彰コーナーでの展示に活かされているほか、思軒の研究者にも利用されています。



実施事業	貫読講堂整備事業（工事）（生涯学習課）
総事業費	1,674,000円
ふるさと納税充当額	1,519,000円

貫読講堂は、学校行事に利用されているほか、多種多様な地域のイベントにも利用されており、不特定多数の方が利用する地域でも重要なコミュニティ施設の役割を担っていますが、昭和17年の建築物であるため、老朽化も進んでおり随時補修を要する状況です。

利用者の安全を確保するため、今年度は老朽化していた渡り廊下の補修工事に活用させていただきます。

実 施 事 業	日本遺産研究事業（生涯学習課）
総 事 業 費	1, 110, 720 円
ふるさと納税充当額	1, 100, 000 円

笠岡諸島の歴史的魅力を広く発信して地域活性化を図るために、日本遺産認定を目指す取り組みを進めました。

文化庁との協議や関係市町との連携を進め、歴史的なストーリーを作成したほか、地域資源活用・観光活性課講演会と題して山田拓氏による講演会を開催しました。

地域資源活用・観光活性課講演会

日 時 平成31年1月18日（金）

会 場 笠岡市保健センター ギャラクシーホール

講 師 山田拓氏（株式会社美ら地球 代表取締役）

来場者 約170名



実 施 事 業	茅原基治船長の墓案内看板設置（生涯学習課）
総 事 業 費	143,640 円
ふるさと納税充当額	100,000 円

現在の笠岡市甲弩に生まれた茅原基治船長は、今から約100年前、ロシア革命のさなかに難民となった約800人のロシア人の子どもたちを陽明丸で救出し、多くの困難を乗り越えて、無事に親元まで送りとどけました。その功績を後世に伝えるため、地元顕彰会によって茅原船長の墓近くに顕彰碑も建立されています。

平成30年度に、墓と顕彰碑を訪れる方をご案内するため、道路沿いに表示板を設置しました。



実施事業	竹喬美術館に関する事業（生涯学習課）
総事業費	5,642,481円
ふるさと納税充当額	67,000円

御寄付により他館から作品を借りることができ、特別展の内容をより充実したものとすることができました。

ご来館のお客様から展示作品に対してお褒めの言葉を多く頂くことが出来ました。また、平成30年度特別展「国画創作協会の全貌展」（9月14日～10月21日開催）は、美術館連絡協議会が全国の展覧会の中から選定して授与する美連協対象の奨励賞を受賞することができました。



[展覧会名]

創立100周年記念 国画創作協会の全貌展

[受賞館(担当者)]

笠岡市立竹喬美術館（柴田 就平／松島 千穂）

和歌山県立近代美術館（宮本 久宣／藤本 真名美）

新潟県立万代島美術館（池田 珠緒／長嶋 圭哉）

